

## 「チェブラーシカ」(全4本)をアニマックスにてテレビ初放送

～幻の第4話「チェブラーシカ学校へ行く」も放送～

チェブラーシカ・プロジェクト[テレビ東京ブロードバンド株式会社・株式会社フロンティアワークス]が権利を保有するキャラクターコンテンツ「チェブラーシカ」のオリジナル映画が、株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパンが運営するアニメ専門チャンネル「アニマックス」にて、2006年12月24日放送の特別番組「アニマックスクリスマスパーティー2006」で放送されることが決定いたしました。

「チェブラーシカ」は、1969年から1983年にかけて制作された4本の短編映画で構成され、ロシアでは知らない人がいないほどの国民的キャラクターとして愛され続けています。

また、なかでも、第4話「チェブラーシカ学校へ行く」は、完成後、放送されたことがなく、世界で初の放送となります。

### ■放送時間

12/24(日) 午前11:00～午後0:30

特別番組「アニマックスクリスマスパーティー2006」にて

(C)Cheburashka Project

(フォントはヘルベチカを使用してください)

### ■放送話数/サブタイトル

第1話 わにのゲーナ

第2話 チェブラーシカ

第3話 シャパクリャク

第4話 チェブラーシカ学校へ行く

### ■スタッフ

原作: エドゥアルド・ウスペンスキー

監督: ロマン・カチャーノフ



### ■「チェブラーシカ」について

「チェブラーシカ」とは、1967年に出た「わにのゲーナ」というエドゥアルド・ウスペンスキーが書いた児童文学をもとに、アニメーションの巨匠、ロマン・カチャーノフの手によって制作されたコマ撮りのアニメーション映画に登場するキャラクターです。1969年～1983年にかけて計4本の短編映画(各20分ほど)が制作されました。その後、ロシアでは知らない人はいないほど、国民的キャラクターとして40年近くも愛され続けています。原作は、日本で2001年に書籍で紹介され、その後、2002年に平凡社から「チェブラーシカ、ワニのゲーナとおともだちの家」が正式に出版されました。また、2001年には渋谷の「ユーロスペース」で映像が公開され、話題になりました。

### ■チェブラーシカ・プロジェクトとは

2006年3月15日、テレビ東京ブロードバンド株式会社を幹事として、株式会社フロンティアワークス(本社:東京都板橋区 代表取締役:及川武)と日本民法上の組合「チェブラーシカ・プロジェクト」を発足いたしました。「チェブラーシカ」に関する全ての、また、あらゆる形での権利保持者と交渉し、ワールドワイド(旧ソ連地域を除く)、オールメディアで包括的なライセンスを保有しております。